

役員立候補者等 公示 10

立候補役員名	全道理事						
(ふりがな) 氏名	やまぐち じゅん 山口 潤	性別	(男) 女	生年月日	西暦 1972年 12月 15日	年齢	44歳
勤務先名	大樹町老人デイサービスセンター（大樹町役場）						
会員番号	35237	市町村	大樹町				
主な活動歴	H17年～25年 施設職員による在宅ボランティア「和の花」会長として設立 H18年～25年 十勝老人福祉施設協議会介護部会長 H19年～25年 北海道老人福祉施設協議会研修部 H25年度 大樹町行財政改革推進プロジェクトチーム員 H26年～現在 十勝老人福祉施設協議会デイ部会役員 H28年～現在 大樹町日常生活支援・介護予防事業体制整備推進委員 H28年～現在 北海道社会福祉士会十勝地区支部生涯研修委員会学習会・セミナー一部会員 H28年～現在 南十勝連携の会(こみっと)会長として設立						
立候補理由・ 抱負	私は過疎化・高齢化が進む地域に住んでいます。誰もが暮らしやすい地域となれるよう、「利用者本位」の視点を養い、高い専門性での支援を実践する為、地域に暮らす様々な専門職の皆さんの力を得て、連携の会を発足し、研修会の開催や他事業所見学を実施し、お互いの顔の見える関係性を築いていけるよう展開しています。地域における課題を誰かのせいにして諦めるのではなく、自分達が実践者としてアクションを起こしていく事で、地域課題解決のリーダーシップを取っていけるような高い専門性が認知されるべく、社会福祉士会の発展に尽力したいと考え、立候補致します。						
推薦者-①	東村 智之	会員番号	32523				
推薦理由	11月26日、十勝地区の南部(南十勝)の保健、医療、福祉関係者が集まり、地域の福祉増進を目指す「南十勝連携の会(こみっと)」が発足。初代代表に就任したのが、山口潤会員です。 「これまで事業所間の連携は少なく、仕事上の悩みや疑問を共有する場がない」という声や実感を仲間と共に共有しながら、準備を進め立ちあげた本会。当初30人規模を想定していた会員は、数週間で70名を超え、地元紙でも大きく取り上げられました。 地域の課題を論ずること、捉えることは出来る。しかしそれを、具体的な地域資源として創出することは、簡単に出来ることではありません。山口潤会員は、それを仲間と共に成し遂げたのです。 私たち社会福祉士は、「コミュニティソーシャルワーカー」です。大きく広いこの北海道における社会福祉士会の活動の未来を考えると、出来る限りコンパクトなエリアの中で、地域の実情やそこで活動する仲間の想いを捉えながら活動を創っていく形が求められると考えています。だからこそ、山口潤会員の視点や経験は、本会の活動に一石を投じるものと確信しております。						
推薦者-②	金石 輝義	会員番号	30617				
推薦理由	この度、推薦させて頂きます山口 潤氏は、施設の介護現場において、利用者の自立を念頭にケアに強い信念を持ち、実践したことで、周囲からの人望も厚いです。とても「熱血漢」で、まわりにいる人も引き込まれていく魅力ある人だと感じており、現に山口氏の声掛けにより、南十勝の多職種がつながり、資質向上を目的とした「南十勝連携の会」を発足するなど、近隣町村にまたがり、活躍をされております。また、熱いだけでなく、向上心が強く、社会福祉士に求められるスキルを常に率先し、自己研鑽している所は本当に感心させられます。この人なら、今後の北海道社会福祉会の活動に大いに貢献できると思い、理事に推薦します。						
推薦者-③	寺本 圭佑	会員番号	32775				
推薦理由	山口候補は、介護福祉士として介護現場で働いた経験を生かし、直接関わることを大切に利用者中心に相談援助を展開しています。山口候補の個別援助技術をベースにした職場における人材育成の能力の高さには個人的にも尊敬しています。山口候補の職場では介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士と複数の専門資格を有する職員が多数誕生しています。また、職場だけでなく、地域においても住民本位の医療介護連携を実践するために、近隣の市町村の専門職を巻き込み連携の会を立ち上げるなど、地域においても幅広く活躍しています。山口候補は、長年休日を利用した清掃などの地域へのボランティア活動を行っており、専門職である前に住民であるという考えは地域福祉を考えて行く上でもっとも大切な視点であると思います。このように、地域の専門職の育成や地域住民と同じ目線で地域づくりを推進して行く山口候補の実践力と行動力は、理事として適任と考えます。						